



双塔

カトリック新潟教会

2025年9月

No. 447

歴史を貫く『信仰』

主任司祭 田 中 丈 夫

今、目の前には、二つの課題があります。一つは新潟カテドラル修繕工事費の工面です。しかも、次の世代に借金を残さないことを考えなければなりません。この新潟カテドラルは、2027年に献堂100周年を迎えます。

二つ目は、昨年2024年から始まった新たな地区制への対応です。新潟県内における地区は、以前、新発田地区は神言会、新潟地区は教区司祭、長岡地区はフランシスコ会が担当するという形で割り振られていましたが、昨年4月から下越、中越、上越の3地区に再編成されました。そして、今年、新たに下越地区協議会が立ち上げられ地区運営が行われることになりました。

わたしたちは、この二つの課題に取り組んでいるということに積極的な意味を見出すことができているでしょうか。新潟地区における宣教の歴史を簡単に概観することでその意味を探りたいと思います。

新潟地区における宣教は、1871(明治4)年、パリ外国宣教会のエヴラル神父によって開始されました。片原通四乃町の米屋の2階の伝道所で始まったと伝えられます。今から154年前のことです。

5年後の1876(明治9)年には最初の受洗者が誕生します。教会の誕生です。今から149年前です。

そして、新潟で最初に宣教が開始されてから56年後の1927年、現在の新潟カテドラルが神言会のチエスカ神父の尽力によって建立されました。『新潟カトリック教会100年の歩み』には次のように記されています。「新潟大聖堂の建設は、すでに1913(大正2)年にも企画され、オーストリア皇室の援助を仰ぎ、献堂式にはオーストリア皇太子(翌年暗殺される)を招待しよう、などという話までなされていたほどであったが、第一次世界大戦の勃発で建設資金を得る望みが消え、計画は後回しにされた」しかし「大戦後、この計画の実現は思いがけないところから熟して來た」。この後の詳しい経過は省略しますが、建設資金に目処が立ち、現在の聖堂が献堂される運びとなりました。

第二次世界大戦後、新潟地区に、カトリック教会が次々と誕生しました。時は、戦後復興期とその後に続く日本経済の成長期と重なるといえるのではないでしょうか。

新潟地区における宣教の歴史を振り返る時、154年という歴史を貫いている『信仰』に気づかされます。信仰について次のような解説がされています。「もともと『信仰』とは、イエスが神さまに対して徹底的に信頼する姿勢に端を発しています。どんなときでも、いつくしみ深い親心そのものである神さまに深く信頼してやまない生き方」(阿部仲麻呂『キリストとともに』p155)。「『信仰』とは、人間の全身全霊を挙げての神の啓示に対する応答」(『カトリック教会の教え』)。そして、教会は信仰の顕れであることに気づかれます。

今、以前と比べて社会の状況が大きく変化し、教会も変化しました。社会における少子高齢化の問題は、教会においても大きな課題です。財力、人的力が衰えているのはどの教会も同じです。司祭も確実に減少しています。しかし、教会の数は変わっていません。現在、下越地区には小教区9、分教会1、集会所2があります。このうち8か所は新潟市内にあります。これが下越地区の現状です。

このような現状の中で新体制がスタートしました。教会が、神の愛の顕れであり続けるためです。5年後、10年後、あるいはその先を見据え、小教区を越えて互いに話し合い、教会と地区の青写真を描くことができれば良いのではないかと考えます。同時に、下越地区における新潟教会の位置、役割、も確認出来たら良いと考えます。

先ずは、わたしたちの信仰を確認しましょう。

♪ インフォメーション! ♪

●入門講座 主任司祭 田中神父にご相談ください。

●聖書勉強会 ★9月より再開。尚、午後7時～の勉強会はしばらくお休みします。

日時 毎週水曜日 午前10時～

会場 カトリックセンター研究室 指導 田中神父

●信仰養成講座

日時 每月第2土曜日 午前10時～ 会場 カトリックセンター研究室 指導 町田神父

※新約・旧約聖書を使います。各自ご持参ください。

●月曜会（秋田の聖母を通して祈る会：野村）

成井司教のミサとロザリオの祈り（どなたでも、ミサのみ参加も可）

今後の予定 9月29日(月)、10月20日(月)、11月10日(月)、12月8日(月)

時間 午前11時～ 指導 成井司教 会場 新潟教会聖堂

●教会維持費などの献金について（小教区評議会）

献金袋が無い方は、聖堂維持費棚の右下に袋があります。各自でご記入の上、日曜日に中央柱の維持費入に入れてください。

●聖堂工事のための特別献金のこと（小教区評議会）

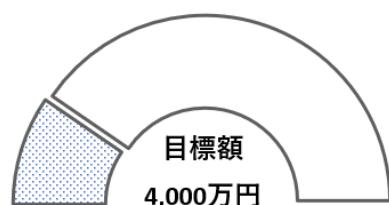
聖堂修繕工事のための特別献金 目標額 4,000万円

★2025年7月末現在 累計額 763万円(進捗率：19%)

(1万円以下四捨五入)

(チラシ・加入者負担用払込取扱票は聖堂に置いてあります)

受け継がれてきた大切な祈りの場を、訪れる全ての人の為に、守り残していきましょう。



●「フードバンクにいがた」支援にご協力ください（新潟カトリック女性の会）

受付：9月7日～10月19日までの日曜日 9:30 ミサ後～12:00

品目：①食料品（常温保存可能で未開封）賞味期限が10月23日以降のもの。

（米、缶詰、レトルト食品、麺類、菓子、飲み物など）

②日用品 使用頻度が高く消費量が多いもので未使用・未開封の商品

（洗剤、トイレットペーパー、生理用品、衛生用品など）

③現金による寄付も受け付けます。（金券不可）

●双塔「王であるキリスト号」への原稿を募集します（広報部）

11月23日に発行する双塔への原稿をお寄せください。「聖年」について特集します。聖年の取り組みとしての巡礼や祈り、大勅書「希望は欺かない」の感想等、日頃感じていることを“思いのままに”お寄せください。聖堂後方の募集箱またはメールでも、受付。

400字×5枚以内（約2,000字以内）でお願いします。短くても大丈夫です。

◆メールアドレス：soutoul656@gmail.com ◆締切 10月5日(日)

2025年9月の予定

※予定は隨時変更になる可能性があります。ご了承ください。

日	主日、祭日、祝日、祈願日等、教会の行事
1日(月)	すべてのいのちを守るための月間（9/1～10/4）
5日(金)	・ミサ 10:00（初金）
7日(日)	年間第23主日 被造物を大切にする世界祈願日 ・フードバンク新潟への寄付品募集（～10月） ・小教区評議会（9:30 ミサ後 研究室） ・英語ミサ（12:00）　・清掃日（センター、外のトイレ：英語ミサ後）
8日(月)	聖母マリアの誕生（祝日）
13日(土)	・信仰養成講座（10:00 研究室）※指導：町田神父
14日(日)	十字架称賛（祝日）祖父母と高齢者のための世界祈願日 ※ミサ中に高齢者への祝福あり・敬老のお祝い（茶話会）（9:30 ミサ後 研究室）
21日(日)	年間第25主日 ・清掃日（聖堂、外のトイレ、センター：9:30 ミサ後） ・国際協力部会（清掃後 研究室）　・広報部会（清掃後 事務室） ・ベトナム語ミサ（12:00）
22日(月)	・成井司教叙階記念日　靈的花束
28日(日)	年間第26主日 世界難民移住移動者の日（献金） ・教会維持費の整理（9:30 ミサ後 事務室）
29日(月)	聖ミカエル 聖ガブリエル 聖ラファエル大天使（祝日）

※ミサ時間

日曜日（7:00、9:30）　英語ミサ（第1日曜12:00）　ベトナム語ミサ（第3日曜12:00）

火曜～木曜、土曜（7:00）　金曜（10:00）

★朝ミサは休止になることもあります。ご確認の上ご参加ください。

9月は、23日(火)～25日(木)7:00と26日(金)10:00のミサはお休みです。



※聖堂開堂時間

毎日 9:00～18:00（都合により左記時間が変更となる場合がございます）

・・・・追加のご報告・・・・

●センターエレベーター使用不可のこと

8月4日(月)早朝、センター談話室の流しの水道管(埋設部分)が劣化によって破損。その為1Fが水浸し(床上約4cm)になりました。エレベーターも被害を受け、しばらく使用不可となります。ミサ時に使用ができない為、主日のミサ（9:30）については、1階研究室でスクリーンを設置し Microsoft Teams を利用したリモート参加も可能としました。
尚、朝ミサ(7:00)は8月24日(日)から小聖堂で行うことになりました。

